第74期

株主のみなさまへ

中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

田淵電機株式会社
TABUCHI ELECTRIC CO., LTD.
証券コード：6624

株主の皆様へ

取締役社長　**貝方士 利浩**

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当中間期におけるわが国経済は、東日本大震災の停滞を脱して、後半は回復途上にありましたものの、円高の長期化や原油価格の高止まり、株価下落などにより、依然として厳しい状況で推移しました。また、世界経済においても、欧州財政問題の深刻化や米国経済の停滞、新興国の成長鈍化などにより、世界景気の減速懸念がますます強まっております。

このような状況下、当社グループでは、中期経営計画「MBP15」の初年度として、今後ますます成長が期待できる環境・エネルギー分野へ重点シフトを図り、パワーコンディショナを中心としたパワーエレクトロニクス事業の強化拡大に取り組んでおります。具体的には、産業用太陽光発電パワーコンディショナや、省エネで需要が急速に拡大しているLED照明用電源など、当社独自技術による高付加価値商品を創出すると共に、円高のもと海外生産移管を進め、原価低減に取り組みました。

その結果、当社グループの連結業績は、パワーコンディショナの堅調な伸びがあったものの、エコポイント制度の終了による液晶テレビ用電源の大幅な減少などにより、売上高は、14,234百万円(前年同期比8.1%減)となりました。損益面では、第1四半期は東日本大震災の間接的影響がありましたが、第2四半期は回復し、営業利益は336百万円(前年同期営業利益29百万円)、経常利益は157百万円、中間純利益は20百万円となりました。

なお、当下期につきましては、タイでの洪水の影響が見込まれますが、当社としましては、パワーエレクトロニクス製品を中心とした積極拡販により安定的な収益確保を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成23年12月

【変成器事業】

今夏の電力不足を契機に節電の機運が一気に高まり、あらゆる機器での変換効率の改善を目指した新商品の開発が加速されています。この中間期はインバータエアコン用リアクタが新興国向けで拡大したため、売上高は4,883百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

【電源機器事業】

エコポイント終了後のテレビ市況の悪化、アミューズメント機器の需要縮小に伴い、民生機器向け電源ユニットの売上が大幅に減少しました。一方、太陽光発電用パワーコンディショナは順調に売上を拡大しましたが、外資の参入等でシステム価格の値崩れが起きる中、原価力の強化を目指し、タイへの生産移管を積極的に進めました。

結果として、売上高は9,351百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

【今後の課題】

今年度を初年度とする中期経営計画「MBP15」に基づき、当社グループとして優位性を発揮できるパワーエレクトロニクス分野へ引き続き人的・物的資本を集中投下します。特にパワーコンディショナは来年度から始まる『再生可能エネルギーの全量買取制度』を弾みに、産業用の市場拡大が見込まれることから、住宅用のみならず、産業用ラインアップの充実にも注力いたします。

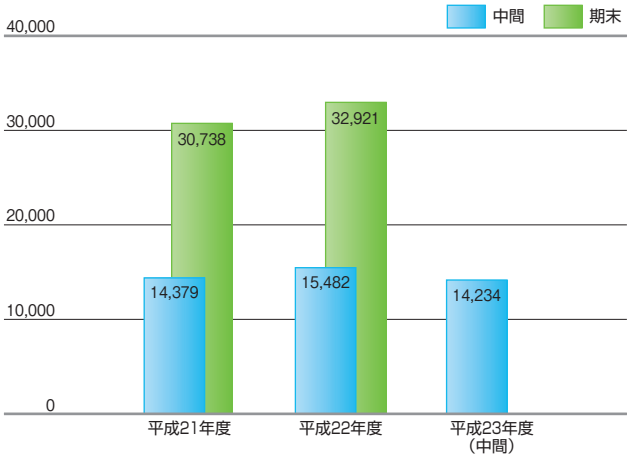
田淵電機の新エネルギーブランド EneTelus

当社グループは、パワーエレクトロニクス製品の新しい事業ブランド『エネテラス』を立ち上げました。太陽電池をはじめとして、風力、燃料電池、蓄電池まで無駄なく地産地消が実現できる分散型電源の中核を担う当社パワーコンディショナの潜在能力を引き出すことが我々の使命と考えます。

連結データハイライト

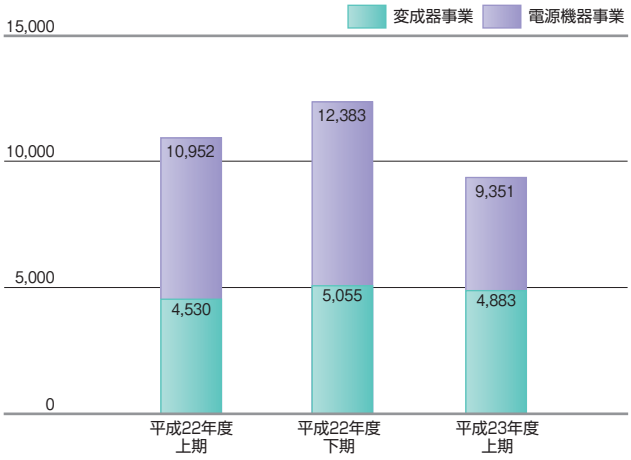
売上高

（単位：百万円）



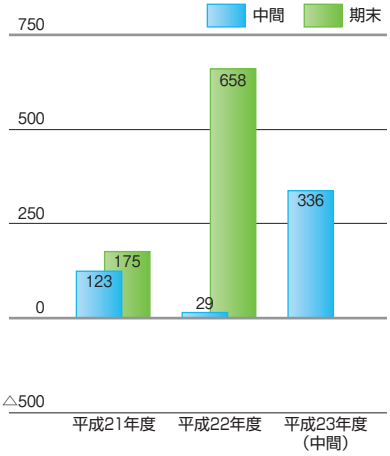
セグメント別売上高

（単位：百万円）



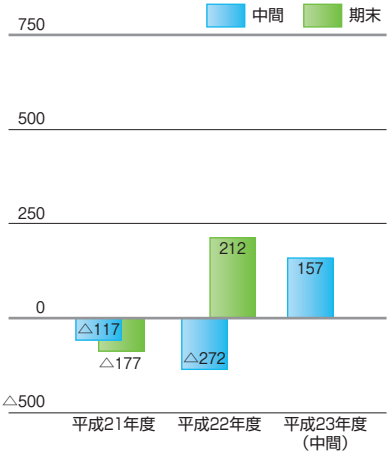
営業利益

（単位：百万円）



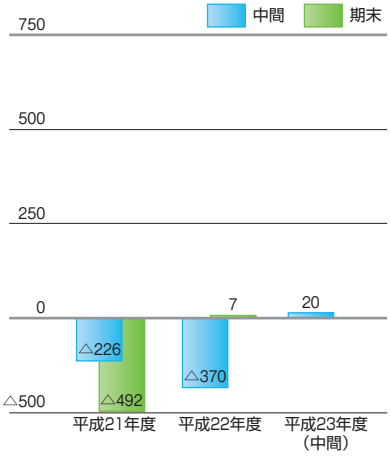
経常利益

（単位：百万円）



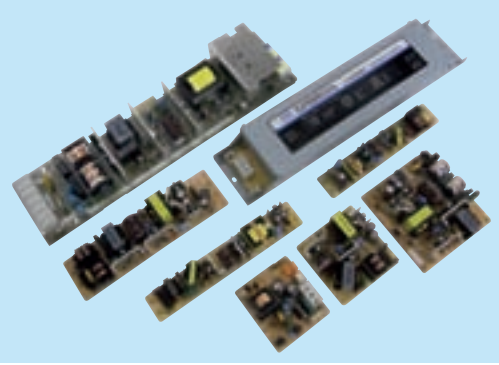
純利益

（単位：百万円）



LED照明用標準電源シリーズ

東日本大震災を契機にますます求められる省エネ、節エネ。
当社は、LED照明用電源として求められる長寿命、効率改善を形にし、10Wから150Wまでラインアップを拡大いたしました。



アルミリッツ線を採用した送受電力用コイルと非接触給電システム

CEATEC JAPAN 2011出展

10月4日～8日に開催された「CEATEC JAPAN 2011」に出展いたしました。

今回は、アルミリッツ線を採用したワイヤレス給電システムのデモ展示をはじめ、2kW～三相10kWまで、ラインアップを広げたパワーコンディショナ、電気の有効活用を目指した小規模電力融通コンセプトの発表、ならびにLED照明用デジタル電源の展示など、様々な新商品を紹介いたしました。
とくに、ワイヤレス給電システムに関しては、当社の得意とするアルミリッツ線の接合技術を活用した将来の電気自動車の非接触給電システムとしてアピールいたしました。

ワイヤレス給電システムのデモ

2011年10月4日～8日
幕張メッセ

生産拠点

FACTORY NETWORK

田淵電子工業株式会社

栃木県 大田原市
生産品目／パワーコンディショナ、
各種電源ユニット

タイ国田淵電機

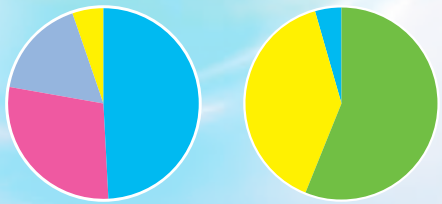
タイ国 チャチェンサオ県
生産品目／各種変成器、
パワーコンディショナ

東莞田淵電機廠（香港田淵電機有限公司）

中国 広東省東莞市
生産品目／各種電源ユニット、
高周波トランス

生産拠点別売上高

- 田淵電子工業
- 上海田淵変圧器
- タイ国田淵電機
- ベトナム田淵電機
- 東莞田淵電機廠



上海田淵変圧器有限公司

中国 上海市
生産品目／各種変成器

ベトナム田淵電機

ベトナム バクニン省
生産品目／高周波トランス

煙台東山電機有限公司（韓国トランス株式会社）

中国 山東省煙台市
生産品目／アルミ線、銅クラッド線、銅線
※持分法適用会社

中間連結貸借対照表

（単位:百万円）

	第74期中間 平成23年9月30日現在	第73期末 平成23年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**9,522**	**9,619**
現金及び預金	1,657	1,350
受取手形及び売掛金	3,708	4,315
たな卸資産	3,704	3,582
その他	452	372
貸倒引当金	△ 0	△ 1
固定資産	**3,926**	**3,885**
有形固定資産	2,275	2,221
無形固定資産	146	128
投資その他の資産	1,503	1,535
繰延資産	**15**	**10**
資産合計	**13,464**	**13,515**
負債の部		
流動負債	**9,191**	**9,709**
支払手形及び買掛金	5,844	5,804
短期借入金	1,139	1,879
1年内返済予定の長期借入金	888	880
1年内償還予定の社債	260	260
その他	1,059	885
固定負債	**2,904**	**3,056**
社債	410	540
長期借入金	1,422	1,442
退職給付引当金	590	558
その他	481	515
負債合計	**12,095**	**12,765**
純資産の部		
株主資本	**2,780**	**1,928**
資本金	3,611	3,195
資本剰余金	416	—
利益剰余金	△1,235	△1,255
自己株式	△ 12	△ 12
その他の包括利益累計額	**△1,488**	**△1,273**
少数株主持分	**77**	**94**
純資産合計	**1,368**	**749**
負債純資産合計	**13,464**	**13,515**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

（単位:百万円）

	第74期中間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	第73期中間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	**14,234**	**15,482**
売上原価	12,798	14,156
売上総利益	**1,436**	**1,325**
販売費及び一般管理費	1,099	1,296
営業利益	**336**	**29**
営業外収益	68	23
営業外費用	247	325
経常利益又は経常損失（△）	**157**	**△ 272**
特別損失	42	9
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	**114**	**△ 281**
法人税、住民税及び事業税	96	68
法人税等調整額	△ 14	9
少数株主利益	12	11
中間純利益又は中間純損失（△）	**20**	**△ 370**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

	第74期中間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	第73期中間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	920	△1,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 476	△ 195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 92	1,077
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 44	△ 31
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	307	△ 636
現金及び現金同等物の期首残高	1,350	1,852
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,657	1,215

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社は四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本報告書では中間と読み替えて表示しております。

会社概要

社　　名	田淵電機株式会社 TABUCHI ELECTRIC CO., LTD.
創　　業	大正14年5月27日
設　　立	昭和14年12月25日
資 本 金	3,611,816,596円
本　　社	大阪市淀川区宮原四丁目2番21号
東京支社	埼玉県川口市南鳩ヶ谷三丁目23番の7

取締役及び監査役の状況

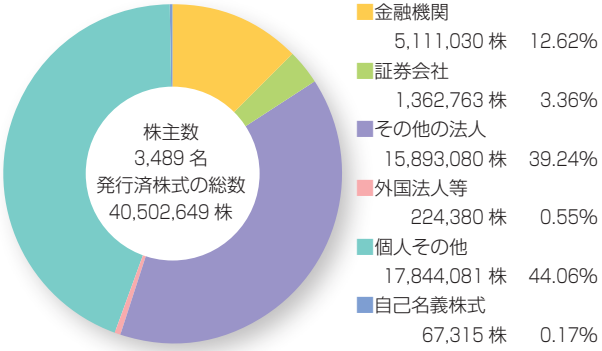
代表取締役会長	田淵暉久
代表取締役社長	貝方士利浩
取締役副社長	阪部茂一
常務取締役	吉原宅二
取締役	山口嘉男
取締役	佐々野雅雄
取締役	坂本幸隆
社外取締役	塩津晴二、
社外取締役	広田嘉章
社外取締役	松村雄次
常勤監査役	尾崎利明
社外監査役	米田秀実
社外監査役	林浩志

大株主状況

株主名	持株数(千株)	持株比率
TDK株式会社	8,000千株	19.78%
田淵暉久	2,133千株	5.27%
美登里株式会社	1,844千株	4.56%
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	1,700千株	4.20%
株式会社みずほ銀行	1,620千株	4.00%
大阪証券金融株式会社	1,165千株	2.88%
株式会社錢高組	900千株	2.22%
日本生命保険相互会社	737千株	1.82%
シャープ株式会社	653千株	1.61%
ミヨシ電子株式会社	635千株	1.57%

(注)持株比率は、自己株式数67,315株を控除して算出しております。

株式分布状況



会社データに記載の内容は平成23年9月30日現在の内容であります

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-176-417
（インターネットホームページURL）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.zbr.co.jp/
上場証券取引所	大阪証券取引所

EneTelus
Power Electronics

EneTelus 及び エネテラスは
田淵電機のエネルギー事業ブランドです

ZEBRA 田淵電機株式会社
TABUCHI ELECTRIC CO., LTD.